シンプル & クイックDRソリューション

CloudEndure DR

自然災害やサイバー攻撃、突然のシステム障害など…不測の事態に事業継続するためには、ITシステムのディザスタリカバリ（DR）環境が重要です。
「CloudEndure DR」は、今までにないシンプルさでクラウドを利用したDR環境を構築・維持し、万が一の時にはDRサーバを迅速に起動します。

操作がシンプル

Webベースの使いやすいダッシュボードで、レプリケーションの状況確認や、DRサーバ立上げが素早く行えます。

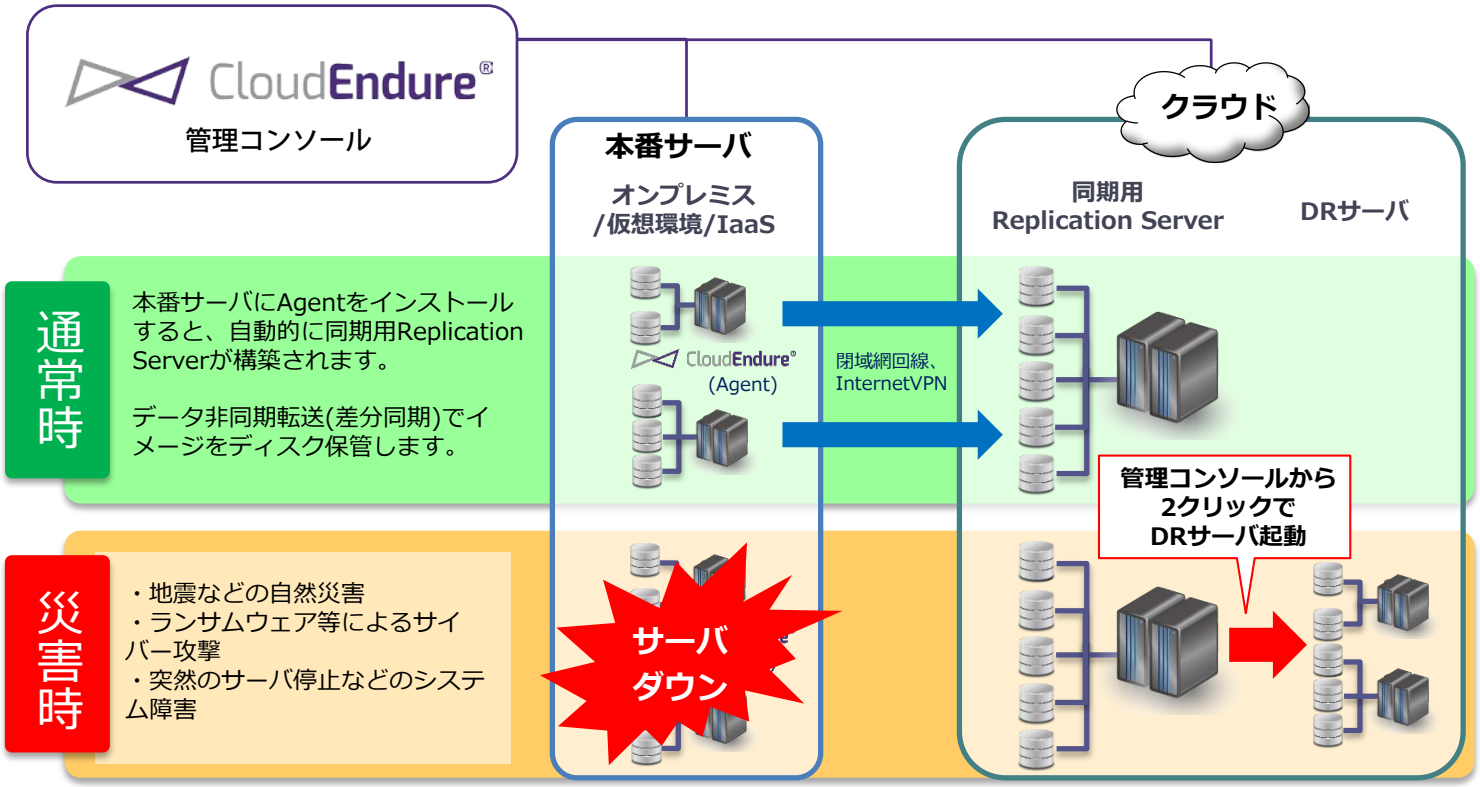
コストがシンプル

通常時はDRサイト側にDISKイメージを保管し、災害時のみDRサーバ起動する仕組み。データセンター、サーバ、ソフトウェアの投資が不要に。

DRサーバクイック起動

災害時には2クリックでDRサーバを起動。RTO（目標復旧時間）を最小限（1時間程度）に抑え、迅速なシステム復旧を支援します。

CloudEndure DRの仕組み



三井情報株式会社

主な特徴

- RTO（目標復旧時間）　最大1時間程度でDRサーバ起動
- RPO（目標復旧時点）　最新時点から最大1ヶ月前までの間で復旧時点を指定可能
- 本番サーバへの影響　Agent導入時に再起動不要のため、本番サーバへの影響が小さい
- サポート対象　【OS】WindowsServer2003/2008/2012/2016
  及び common Linux distributions（RHEL、CentOSなど）
  【Hypervisor】本番サーバは、物理環境（オンプレミス）、仮想環境、IaaSに対応可能
- 前提条件　本番サーバとDR側環境（同期用サーバ、DRサーバ）の閉域網回線/Internet VPN接続など
- ライセンス体系　本番サーバ1台につき1ライセンス必要
  （最低契約ライセンス数：10、最低契約期間：1年）

MKIのサポートサービス

メニュー	概要
PoC支援サービス（推奨）	CloudEndureの評価環境構築/評価実行支援 - マニュアル類の提供 - PoCアカウントの発行 - E-mailでの問合せ対応
移行支援サービス	CloudEndureを用いて、お客様サーバ環境のクラウドへの移行を支援 (※支援対象はサーバのみ。ミドルウェア・アプリケーションについての動作保証はサービス対象外)
AWSサービス販売	AWS EC2をはじめとしたAWSサービス及び、お問合せ対応等の各種メニューの販売

CloudEndureを使ったDR環境構築事例　※CloudEndure社による米国事例を翻訳

Malibu Boats（スポーツボート業界におけるトップ企業）

- DR環境構築対象：自社データセンター内のサーバ全て
- 概要：
  - 本番サーバとは別のDCをDR環境として使用していたが、DCが同じ地域内にあるリスクと事業拡大に伴いサーバ数・コストが増大することを問題視し、DR戦略を見直すことに。
  - 大企業の復旧要件レベルを満たし、且つ厳しい予算要件もクリアしたCloudEndureとAWSをDR環境に採用。予算に関しては、DR環境用のハードウェア、高価なストレージ、ソフトウェアライセンスへの不要な設備投資を抑えられることを評価。
  - 導入して数週間後、大規模停電により重要なシステムのサーバがダウンしたが、CloudEndureを使用しサーバダウン前の時点に数分でフェイルオーバーできたことで、工場停止せずにボートの生産を継続できた。障害復旧後のフェイルバックについても、ファイルオーバー後の差分データ戻しを含めて迅速に簡単に実施できた。

※このカタログに記載の会社名、製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。※このカタログに記載されている内容は予告なしに変更する場合があります。

【お問い合わせ先】

三井情報株式会社

〒105-6215 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー
TEL：03－6376－1122　FAX：03－3435－0524
E-Mail：sales@ml.mki.co.jp

ホームページ: https://www.mki.co.jp/